

<問い合わせ状況 2021 年 12 月>



院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5～10 件程度の問い合わせに対応しています。12 月の疑義照会は 10 件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認（2 件）
- 重複処方（2 件）
- 日数変更
- その他（5 件）
 - ・処方箋期限切れ
 - ・前医と処方が違う
 - ・患者が薬を取りに来ない。
（連絡しても TEL に出ない）
など



薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

12 月は 1 件の質問がありました。

- アジレクト服用によるものと思われる眠気への対応について

薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。12 月は記録したもので 7 件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります）。

◎がかったものについては回答を DI ニュース No. 442 に記載しています。

- ロソーゼット[®]の代替薬は？
- ◎エムガルティ[®]はどの程度投与日がずれても良いか？
- ◎スーグラ[®]服用中。扁桃の術後に食べられなかった場合の低血糖リスクは？
- ◎ユリス[®]の尿酸低下率は？
- ◎イムノブラダー[®]使用后、おむつの処理はどうすれば良いか？
- ◎リルゾール[®]は食後服用でも良いか？
- ◎レバチオ[®]とヴォリブリス[®]は 1 包化できるか？

